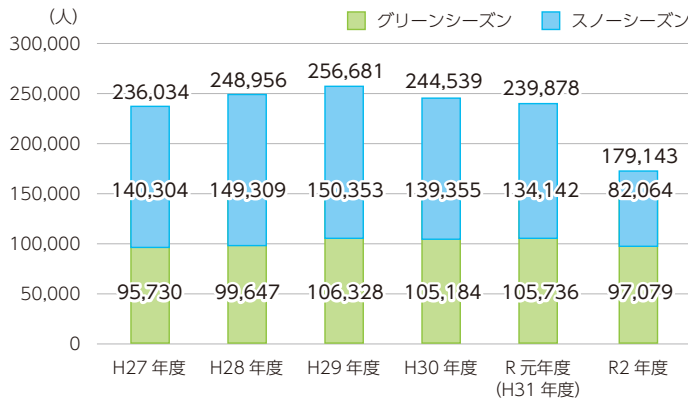


# 富士見パノラマリゾートの経営状況をお知らせします

問 産業課 商工観光係 ☎62-9324

## 1 富士見パノラマリゾートの状況 ～新型コロナウイルス感染症の影響で苦戦を強いられた一年でした～



### スノーシーズン

スキー・スノーボードだけでなく、キッズパークも大人気。入笠山は、雪山でのスノーシュートレッキングで賑わいます。



### グリーンシーズン



山野草公園では、春から夏、様々な山野草の移り咲きを楽しみ、秋は早朝の雲海やナイトゴンドラでの星空観察が楽しめます。

### グリーンシーズン

4～5月はコロナによる営業自粛と緊急事態宣言により完全休業を余儀なくされました。6月より営業を再開しましたが「県境を跨ぐ移動自粛」で外出を控える傾向が強く、加えて早い梅雨入りと長梅雨に見舞われたことで7月までの来場者は激減し、7月末時点では前年比28%まで落ち込みました。その後2大リゾートキャンペーンによる効果もあり、最終的には前年比92%まで回復しました。

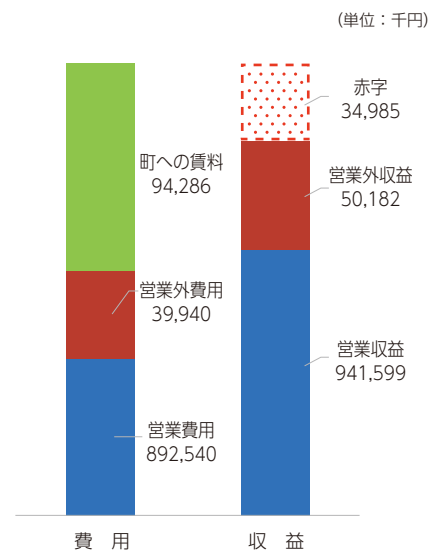
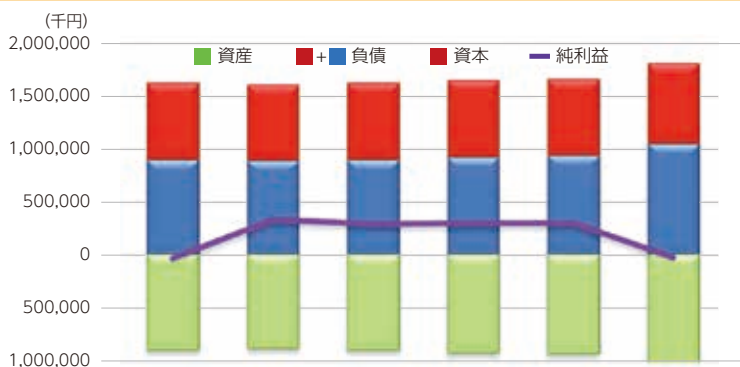
### スノーシーズン

オープン直後は順調に滑り出すことができましたが、年末のGoToトラベル事業の停止や1月の緊急事態宣言の影響で来場者は大きく減少し、ツアー団体やスキー教室もすべて中止となったため、厳しいシーズンとなりましたが、2月後半より一般来場者が増加し、前年比62%に留まりました。

### 1年の総括

新型コロナウイルス感染拡大による影響は、緊急事態宣言発出により施設の一時閉鎖、学校行事の中止や移動自粛など、事業運営に大きく影響を受け苦戦を強いられた一年となりました。このような状況下ではありましたが、国・県・町の支援策を最大限に活用して資金確保に努めるとともに、効果的な事業運営と成長戦略プロジェクトで提案された新たな事業を軌道に乗せるべく、全職員が一丸となって事業を推進しました。

## 2 富士見パノラマリゾートの決算状況



	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度 (平成31年度)	令和2年度
収益	1,375,001	1,512,270	1,476,768	1,396,354	1,371,925	991,781
費用	1,411,462	1,505,835	1,475,334	1,394,039	1,369,784	1,026,766
純利益	-36,461	6,435	1,434	2,315	2,141	-34,985
資産	899,709	889,185	901,170	929,841	939,589	1,051,674
負債	1,629,126	1,612,240	1,622,863	1,649,291	1,656,971	1,804,113
資本	-729,417	-723,055	-721,693	-719,450	-717,382	-752,439

富士見パノラマリゾートでは、スキー場のほかに施設管理事業として川崎市少年自然の家、多摩市少年自然の家、戸田市少年自然の家それぞれの施設を指定管理として受託しておりますが、施設管理事業を含めた本社全体として令和2年度は34,985千円の赤字となりました。全事業で経費の抑制に努めてきましたが、新型コロナウイルス感染症の収束が見えず来場者が見込めない状況下での運営は大きなリスクがあり、緊急的に必要となる資金等に備えるため、令和2年度は町内金融機関等より合計2億円の借入れを行いました。この借入金は今後10年間で返済をしていく予定です。